



# かえるの詩

学校便り(校長) 令和3年4月19日 No.1

## 「よろしく願いいたします」

今年度から、校長となりました。昨年度までは、教頭として大変お世話になりました。挨拶回りの際は、あたたかいお言葉を掛けていただき、感激しております。

保護者・地域の皆様とともに、子供達の成長を支えていきたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。

【校長：舘 英樹】

## 「ややこしいのですが、、」

これまで通り、「かえるの声」は、月1回程度は発行していきますので、子供達の活躍の様子は「かえるの声」をご覧ください。

それとは別に、この「かえるの詩(うた)」を発行していきます。こちらには、校長の方針や保護者・地域の方々と一緒に考えていきたいことなどを書いていきますので、お時間のある時にお読みください。

## 今日のテーマは「毛涯 章平(けがい しょうへい)氏の言葉」です

- 1 ほめることばも、しかることばも、真の「愛語」であれ。「愛語」は、必ず子どもの心にしみる。
- 2 暇をつくって、子どもと遊んでやれ。そこに、本当の子どもが見えてくる。
- 3 教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑いと、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子どもの心を暗くする。

(「肩車にのって」わが教師十戒より抜粋)

※昭和の時代に教師をされていた毛涯先生のお言葉です。

トラクターがGPSで正確に動くようになって、携帯電話が普及しても、火星に探査機が飛んで行っても、変わらないことがありますね。